

【別表1】

大学院歯学研究科 主科目・副科目 最大単位と履修例

- 1) 学年ごとに主科目・副科目それぞれ下記の最大単位内で履修する。
 2) 指導教員と相談のうえ履修すること。

一般選抜 (主科目・副科目共に)				社会人特別選抜 (主科目・副科目共に)		
学 年	講義・演習 最大単位(時間)	実 習 最大単位(時間)	合計単位	講義・演習 最大単位(時間)	実 習 最大単位(時間)	合計単位
1	最大4(80時間)	最大4(160時間)	最大6単位	最大2(40時間)	最大2(80時間)	最大4単位
2	最大4(80時間)	最大4(160時間)	最大6単位	最大2(40時間)	最大2(80時間)	最大4単位
3	最大4(80時間)	最大4(160時間)	最大6単位	最大2(40時間)	最大2(80時間)	最大4単位
4	最大2(40時間)	最大2(80時間)	最大4単位	最大2(40時間)	最大2(80時間)	最大4単位
合 計	主・副合計 10(200時間)単位以上	主・副合計 12(480時間)単位以上	22単位以上	主・副合計 8(160時間)単位以上	主・副合計 8(160時間)単位以上	16単位以上

<履修例>

学 年	主 科 目			副 科 目		
	講義・演習	実 習	合 計	講義・演習	実 習	合 計
1	4 (80時間)	2 (80時間)	6単位	2 (40時間)	2 (40時間)	4単位
2	3 (80時間)	2 (80時間)	5単位	0 (40時間)	2 (40時間)	2単位
3	2 (60時間)	2 (80時間)	4単位	0 (40時間)	2 (40時間)	2単位
4	0 (0時間)	0 (0時間)	0単位	0 (0時間)	0 (0時間)	0単位
合 計	9 (220時間)	6 (160時間)	15単位	2 (120時間)	6 (80時間)	8単位

科 目 名	単 位 数	単位数合計
①主科目	15単位	30単位
②副科目	8単位	
③Clinical and Research English	2単位	
④歯学研究特論	4単位	
⑤共通科目	1単位	

※4年目は原則として、指導教員のもとで学位論文を完成させる。

【別表2】

大学院歯学研究科 歯学研究特論(選択科目)一覧表

*合計で1単位(20時間)以上になるように、研究入門および口腔科学特論の各タイトルから選択して履修する。

*各タイトルの学習内容および時間などは電子シラバスを参照すること。

科目名	タイトル	開講期	担当講座名	時間数計	科目責任者名
研究入門	1 組織標本の作成法と観察・分析	1前期	口腔病理学	10	美島教授
	2 歯科材料の基礎的物性評価法	1通期	歯科理工学	4	柴田教授
I 研究入門 合計 (2科目)					
口腔科学特論	1 各種骨補填材料とメンブレンの特性	1前期	インプラント歯科学	2	宗像准教授
	2 インプラント周囲炎の診断および治療方法の問題点	1後期	インプラント歯科学	4	宗像准教授
	3 臨床研究の仮説とコントロールの設定 (現在のインプラントの研究テーマ)	1通期	インプラント歯科学	4	宗像准教授
	4 超高齢社会におけるデンタルインプラント	1通期	インプラント歯科学	1	佐藤(大) 講師
	5 インプラントに応用するデジタル技術	1後期	インプラント歯科学	2	石浦講師
	6 顎運動の解析法	1通期	顎関節症治療学	2	菅沼教授
	7 脂肪肝細胞を骨にする 最先端のCPCを用いない再生医療の現状と未来	1前期	顎顔面口腔外科学	4	椋代助教
	8 口腔乾燥症	1通期	顎顔面口腔外科学	6	鎌谷准教授
	9 食品物性の総合的分析法	1通期	口腔衛生学	4	弘中教授
	10 発達障害児の特性と食支援	1通期	口腔衛生学	6	内海講師
	11 施設入所高齢者の口腔機能評価	1後期	口腔衛生学	12	石川講師
	12 歯科法医学概論	1通期	口腔衛生学	4	伊澤講師
	13 乳幼児健診における口腔機能支援	1前期	口腔衛生学	2	石崎講師
	14 組織培養の基礎と応用	1前期	口腔解剖学	8	吉村講師
	15 口腔がん—口内炎とがんを見極める—	1通期	口腔腫瘍外科学	3	嶋根教授
	16 口腔癌を含む頭頸部癌に対する標準治療および新規治療法について	1通期	口腔腫瘍外科学	4	勝田准教授
	17 原因不明の痛みをどうみるか? — 非菌原性歯痛の診断と治療 —	1後期	口腔腫瘍外科学	2	佐藤(仁) 講師
	18 口腔癌の診断 — 各種検査の特徴を知る—	1前期	口腔腫瘍外科学	4	齊藤講師
	19 細胞生物学の研究手法の基礎	1前期	口腔生化学	6	笹助教
	20 遺伝子発現解析の基礎	1通期	口腔生化学	4	山田准教授
	21 硬組織成分分析法の基礎	1前期	口腔生化学	2	宇山講師
	22 遺伝子工学概論	1後期	口腔生化学	4	上條教授
	23 硬組織生物学実験法	1前期	口腔生化学	10	矢野講師
	24 ライブセルイメージングと画像解析の基礎	1後期	口腔生理学	4	中村准教授
	25 生体機能解析法	1後期	口腔生理学	4	鹿本講師
	26 睡眠の生理学	1前期	口腔生理学	2	望月講師
	27 口腔機能の解剖と生理	1通期	口腔生理学 他	16	井上教授
	28 遺伝子研究の基礎と応用	1後期	口腔微生物学	4	桑田教授
	29 病理診断における免疫染色法	1前期	口腔病理学	4	美島教授
	30 レーザーマイクロイメージングを応用した分子生物学的アプローチ	1前期	口腔病理学	4	安原講師
	31 口腔機能障害の評価と治療	1通期	口腔機能リハビリテーション医学	4	伊原准教授
	32 嚥下機能に関わる神経メカニズムと神経疾患	1後期	口腔機能リハビリテーション医学	4	伊原准教授
	33 精神疾患患者における摂食嚥下障害に対する対応	1後期	口腔機能リハビリテーション医学	4	野末講師
	34 構音障害に対する顎顔面補綴治療	1通期	口腔機能リハビリテーション医学	2	原田助教
	35 歯科テクノロジーアセスメント入門	1前期	高齢者歯科学	4	佐藤教授
	36 高齢者の義歯と咀嚼・嚥下機能	1後期	高齢者歯科学	4	古屋准教授
	37 矯正歯科における先進技術の臨床応用と研究	1通期	歯科矯正学	2	中納准教授
	38 先天性疾患における矯正歯科治療と臨床及び基礎研究の重要性	1通期	歯科矯正学	2	高橋講師
	39 矯正臨床における問題点と研究	1通期	歯科矯正学	2	芳賀講師
	40 口腔バイオメカニクス入門	1後期	歯科矯正学	2	槇教授
	41 口腔内科的疾患の診断と治療 臨床研究入門	1前期	歯学教育学	4	片岡教授
	42 画像診断法—X線、CT、MRI、超音波、内視鏡などの画像診断法の基礎と解析方法	1後期	歯科放射線医学	6	関准教授
	43 デジタル画像と画像処理	1前期	歯科放射線医学	4	荒木教授
	44 診断精度の評価方法	1通期	歯科放射線医学	2	松田講師
	45 臨床研究のデザイン	1後期	歯科補綴学	4	馬場教授
	46 補綴とバイオマテリアル	1後期	歯科補綴学	2	馬場教授
	47 デジタル歯科を基盤とした審美補綴治療	1後期	歯科補綴学	2	田中准教授
	48 睡眠時ブラキシズムの基礎と最新の捉え方	1後期	歯科補綴学	2	高場講師

大学院歯学研究科 歯学研究特論(選択科目)一覧表

*合計で1単位(20時間)以上になるように、研究入門および口腔科学特論の各タイトルから選択して履修する。

*各タイトルの学習内容および時間などは電子シラバスを参照すること。

科目名	タイトル	開講期	担当講座名	時間数計	科目責任者名
口腔科学特論	49 歯科における麻酔管理の適応と合併症の管理	1前期	歯科麻酔科学	1	飯島教授
	50 小児歯科における全身麻酔と鎮静法の適応	1前期	歯科麻酔科学	1	西村講師
	51 歯科医師として知っておくべき睡眠時無呼吸の基礎知識	1前期	歯科麻酔科学	1	幸塚講師
	52 ペインクリニック	1後期	歯科麻酔科学	3	増田講師
	53 歯科治療時に発生する偶発症への対処とバイタルサインの基礎知識	1通期	歯科麻酔科学	4	立川助教
	54 宇宙環境から考える歯と骨のバイオロジー	1前期	歯科薬理学	2	茶谷講師
	55 川本法を用いた非脱灰硬組織凍結切片標本の作成	1前期	歯科薬理学	2	唐川講師
	56 μ CTを用いた歯や骨の3次元形態解析入門	1後期	歯科薬理学	4	坂井講師
	57 デジタルプロセスとネットワークを利用した歯冠修復の製作	1前期	歯科理工学	8	堀田准教授
	58 インプラント材料の表面処理と評価法	1前期	歯科理工学	6	片岡講師
	59 材料の結晶構造解析	1前期	歯科理工学	4	荻野講師
	60 歯周組織の維持機構と再生・創傷治癒	1前期	歯周病学	4	山本教授
	61 歯周病と関連する全身疾患	1前期	歯周病学	4	小出講師
	62 歯周治療をもとにした包括的歯科治療	1後期	歯周病学	4	滝口准教授
	63 障害者が今、歯科にもとめるもの	1前期	障害者歯科学	4	船津教授
	64 少子化がもたらす小児歯科の未来	1前期	小児成育歯科学	6	船津教授
	65 POSに基づく総合治療計画立案プロセスと診察診断の有用性	1前期	総合診療歯科学	2	長谷川教授
	66 総合治療計画の実際	1前期	総合診療歯科学	2	伊佐津准教授
	67 システムティックレビューとメタアナリシス	1後期	総合内科学	10	安藤講師
	68 有病者と医療連携の実際	1前期	医科歯科連携診療歯科学	1	岡松講師
	69 有病者の問診の取り方と治療計画	1後期	医科歯科連携診療歯科学	4	マイヤーズ准教授
	70 大学病院における病院歯科の役割についての検討	1後期	医科歯科連携診療歯科学	2	松浦講師
	71 昭和大学病院周術期管理チームにおける歯科医学の役割	1前期	医科歯科連携診療歯科学	5	山口講師
	72 新規薬剤・器械を併用した根管治療	1前期	歯内治療学	4	鈴木教授
	73 歯の漂白法 基礎と臨床テクニック	1前期	美容歯科学	4	真鍋教授
74 高分子材料と歯質との接着	1前期	美容歯科学	4	真鍋教授	
75 歯科生体材料の安全性	1後期	美容歯科学、歯科理工学	4	真鍋教授、柴田教授	
II 口腔科学特論 合計 (75科目)					
III リカレント教育			8時間まで「歯学研究特論」の履修時間に算入できる。		

【別表3】

＜共通科目A＞

共通科目 1 科目あたりの履修時間：・必修 8 回 + 選択 2 回の計 1 0 回（1 回は 90 分）を履修する。

*原則として 1 年次で履修すること。

*各科目の内容および時間などは電子シラバスを参照すること。

No.	科目名	単位数	開講期	担当講座（分野）
1	生体の組織構造解析法	1	通期	【医】解剖学(顕微解剖学分野) 解剖学(肉眼解剖学分野) 【歯】口腔解剖学 口腔病理学
2	生体の病理病態学的解析法	1	通期	【医】臨床病理診断学 【歯】口腔病理学
3	生体の機能解析法	1	通期	【医】生理学(生体制御学分野) 生理学(生体調節機能学分野) 薬理学(医科薬理学分野) 薬理学(臨床薬理学分野) 【歯】口腔生理学 口腔衛生学 歯科理工学
4	生体内の物質分析法	1	通期	【医】生化学 法医学
5	分子生命科学的解析法	1	通期	【医】微生物学免疫学 先端がん治療研究所 【歯】口腔生化学 口腔微生物学
6	医学生物における統計学的解析法	1	通期	【医】衛生学公衆衛生学 【薬】薬物動態学
7	研究倫理・教育・AI(必修)	1	通期	

【別表4】

<共通科目B>

*2年次以上で履修すること。

*内容については、電子シラバスを参照すること。

科目名		取得単位数	開講期
4大学院がんチーム医療	必修	1単位	通期
	選択※	3単位以上	

※ 選択科目内訳		
医学研究科	1) 共通科目 ・ 分子生命科学的解析法（先端がん治療研究所）【1単位】	
	2) 専攻科目 ・ 内科学（腫瘍内科学分野）【1単位】	
	1) 共通科目 ・ 生体の機能解析法（口腔衛生学）【1単位】 ・ 生体の組織構造解析法（口腔病理学）【1単位】 ・ 生体の病理病態学的解析法（口腔病理学）【1単位】	
歯学研究科	2) 歯学研究特論 口腔科学特論 ・ 口腔機能障害の評価と治療（4時間） ・ 口腔癌を含む頭頸部癌に対する標準治療および新規治療法について（4時間） <u>※歯学研究特論 口腔科学特論は、上記科目を含む20時間以上履修すること。</u>	
	1) 薬学研究科科目 ・ がん薬物療法学【1単位】 ・ 薬学的がんケア学【1単位】	
	保健医療学研究科	・ 放射線腫瘍学【1単位】 ・ 放射線生物学【1単位】
		備考 1) 必修の講義とワークショップを履修し、20時間で1単位とする。 2) ただし、マルチタスクプログラム（科目等履修生）は講義履修時間のみ大学院履修時間に持ち越しとする。

【別表5】

大学院歯学研究科(歯学概論)履修表

歯学部以外を卒業した大学院生は必修。

博士（歯学）を取得するために必要とする歯学に関する基礎的事項を習得する。

履修方法： 講義（履修項目は下表を参照）

下記から選択した10項目（1回90分） 合計10回を履修する。

受講日は、対象学生・担当教員と調整のうえ決定する。

履修項目	担当講座(部門)	責任者
口腔領域の解剖学・組織学概論	口腔解剖学	野中 直子
顎口腔顔面の生理学概論	口腔生理学	井上 富雄
硬組織の生化学概論	口腔生化学	上條 竜太郎
口腔の微生物学概論	口腔微生物学	桑田 啓貴
顎顔面領域の病理学概論	口腔病理学	美島 健二
歯科治療に関する薬理学概論	歯科薬理学	高見 正道
口腔環境の衛生学概論	口腔衛生学	弘中 祥司
歯科材料の理工学概論	歯科理工学	柴田 陽
歯科保存学概論	美容歯科学	真鍋 厚史
歯周病学概論	歯周病学	山本 松男
歯科矯正学概論	歯科矯正学	槇 宏太郎
歯科補綴学概論	歯科補綴学	馬場 一美
口腔外科学概論	顎顔面口腔外科学	代田 達夫
歯科麻酔科学概論	歯科麻酔科学	飯島 毅彦
小児歯科学概論	小児成育歯科学	船津 敬弘
歯科放射線学概論	歯科放射線医学	荒木 和之